

年譜ならびに主要業績

生年月日

1955年1月15日 東京都に生まれる

学歴

1967年3月 東京都中野区立野方小学校卒業
1970年3月 東京都中野区立第六中学校卒業
1973年3月 東京都立西高等学校卒業
1978年3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
1980年3月 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了
1987年3月 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学

職歴

1992年4月 東京経済大学経済学部専任講師 [経済史]
1996年4月 東京経済大学経済学部助教授 [アジア経済史・経済史入門]
2001年4月 東京経済大学経済学部教授 [アジア経済史・アジア NIES 論]
[主な学内役職など]
1997年4月 経済学部教務主任 (1999年3月まで)
2000年4月 入試委員長 (2002年3月まで)
2004年4月 学生委員長 (2006年3月まで)
2005年6月 個人情報保護準備作業部会座長
2005年7月 危機管理体制検討プロジェクトチーム委員長
2007年4月 硬式野球部長 (2016年3月まで)
2008年4月 経済学部長 (2010年3月まで)
2008年4月 国際交流委員長 (2010年3月まで)
2009年4月 学校法人東京経済大学理事 (2010年3月まで)
2010年4月 東京経済大学体育会会長 (2014年3月まで)
2011年9月 中国・对外経済貿易大学交換教員 (2012年1月まで)
2014年4月 国内研究員 (2015年3月まで)
2014年5月 東京経済大学生生活協同組合理事長 (2016年4月まで)

非常勤講師

- 1986年 9月 横浜市立大学文理学部 [近代史Ⅴ：朝鮮近代史] (1987年3月まで)
- 1987年 4月 東京都立大学人文学部 [日本史学特殊講義：近代日本とアジア] (1990年3月まで, 1989年度は大学院兼任)
- 1987年 4月 東京外国語大学外国語学部 [朝鮮事情概説：近代朝鮮経済史] (1992年3月まで)
- 1987年 4月 神田外語大学外国語学部 [韓国の政治経済] (1992年3月まで)
- 1990年 4月 学習院女子短期大学人文学科 [文化史演習：近代日本文化とアジア] (1999年3月まで)
- 1994年 4月 津田塾大学学芸学部 [日本研究C：近代日本経済とアジア] (1995年3月まで)
- 1995年 9月 早稲田大学商学部 [アジア交易圏と日本] (2011年7月まで)
- 1996年 4月 東京大学文学部 [文化交流特殊講義：植民地期の朝鮮経済] (1996年9月まで)
- 1996年 7月 東京大学大学院人文社会系研究科 [多分野交流演習] (客員助教授, 2001年9月まで)
- 1998年 4月 東京大学教養学部 [東アジア地域研究演習Ⅱ] (1998年9月まで)
- 1998年 10月 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 [東アジア研究Ⅱ] (2011年7月まで)
- 1999年 4月 東京大学大学院総合文化研究科 [地域文化特殊研究Ⅴ] (1999年9月まで)
- 2000年 4月 津田塾大学学芸学部 [日本研究C：近代日本経済とアジア] (2008年3月まで)
- 2000年 4月 学習院女子大学国際文化交流学部 [アジア文化論Ⅴ・Ⅵ] (2004年3月まで)
- 2001年 12月 九州大学大学院人文科学研究院 [近代朝鮮経済史] (集中講義)
- 2004年 12月 九州大学大学院人文科学研究院 [近代朝鮮経済史] (集中講義)
- 2006年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科 [朝鮮近現代経済史] (2006年9月まで)
- 2013年 3月 東京大学大学院人文社会系研究科 [韓国朝鮮歴史文化・特殊研究] (2013年8月まで)
- 2015年 3月 東京大学大学院人文社会系研究科 [韓国朝鮮歴史文化・特殊研究] (2015年8月まで)

主な社会的活動

- 2006 年 1 月 国分寺市行政改革推進委員長（2010 年 7 月まで）
- 2008 年 10 月 朝日カルチャーセンター講師 [近現代の朝鮮半島：東アジア世界の中で]（2009 年 3 月まで）
- 2009 年 4 月 放送大学教養学部放送担当講師 [北東アジアの歴史と朝鮮半島]
- 2009 年 5 月 国分寺市国際協会会長（2013 年 5 月まで）
- 2010 年 4 月 放送大学大学院放送担当講師 [東アジアの歴史と社会]
- 2012 年 1 月 江東区亀戸文化センター講師 [ナビゲート・코리아：歴史と文化の旅]（2012 年 2 月まで）
- 2012 年 11 月 国分寺市公共調達委員長（2016 年 10 月まで）

主要研究業績

著 書

- 『朝鮮史』（武田幸男・田中俊明・李成市・山内弘一・糟谷健一と共著，第 7 章・第 8 章を担当）山川出版社，2000 年 8 月
- 『帝国日本と植民地都市』吉川弘文館，2004 年 3 月
- 『일본제국주의, 식민지 도시를 건설하다』（金濟正訳）모티브북，2005 年 6 月
- 『北東アジアの歴史と朝鮮半島』（吉田光男・李成市と共著，第 10 章～第 15 章を担当）放送大学教育振興会，2009 年 3 月
- 『東アジアの歴史と社会』（吉田光男・上田信・鶴間和幸と共著，第 14 章・第 15 章を担当）放送大学教育振興会，2010 年 3 月

論 文

- 「朝鮮鉄道の満鉄への委託経営をめぐって：第一次大戦前後の日帝植民地政策の一断面」（『朝鮮史研究会論文集』第 19 集，1982 年 3 月）
- 「両大戦間期の日本帝国主義と朝鮮経済」（『朝鮮史研究会論文集』第 20 集，1983 年 3 月）
- 「戦前期東南アジア在留邦人人口の動向：他地域との比較」（『アジア経済』第 26 巻第 3 号，1985 年 3 月）
- 「戦前期フィリピンにおける邦人経済進出の形態：職業別人口調査を中心として」（『アジア経済』第 26 巻第 3 号，1985 年 3 月）
- 「1930 年代前半期フィリピンに対する日本の経済的進出：アメリカ・フィリピンの対日政策との関連において」（清水元編『両大戦間期日本・東南アジア関係の諸相』アジア経済研究所，1986 年 3 月）

年譜ならびに主要業績

- 「1930・40年代の朝鮮社会の性格をめぐって」(『朝鮮史研究会論文集』第27号, 1990年3月)
- 「植民地都市としてのソウル」(『歴史学研究』第614号, 1990年12月)
- 「アジアの中の安保闘争: その意義と限界」(『人民の歴史学』第109号, 1991年9月)
- 「朝鮮史における近代と反近代」(『歴史評論』第500号, 1991年12月)
- 「NIEs 都市ソウルの形成」(『朝鮮史研究会論文集』第30号, 1992年10月)
- 「釜山・仁川の形成」(『植民地化と産業化』岩波講座: 近代日本と植民地3, 岩波書店, 1993年2月)
- 「植民地都市」(成田龍一編『都市と民衆』近代日本の軌跡9, 吉川弘文館, 1993年12月)
- ‘The Pattern of Japanese Economic Penetration of the Prewar Philippines’ (Saya Shirai-shi & Takashi Shiraishi ed. “The Japanese in Colonial Southeast Asia”, Cornell University, Dec. 1993)
- 「GHQ 文書にみる占領末期の静岡県」(『静岡県史研究』第10号, 1994年3月)
- 「韓国・台湾のNIEs 化と都市化」(小島麗逸・幡谷則子編『発展途上国の都市化と貧困層』アジア経済研究所, 1995年1月)
- 「韓国における都市貧困層」(小島麗逸・幡谷則子編『発展途上国の都市化と貧困層』アジア経済研究所, 1995年1月)
- 「戦前期日本・アジア関係史をめぐる諸問題: 最近の研究動向を前提として」(正田健一郎編『日本における近代社会の形成』三嶺書房, 1995年3月)
- 「ソウルの建築: 植民地化と近代化」(加藤祐三編著『近代日本と東アジア: 国際交流再考』筑摩書房, 1995年7月)
- 「韓国の都市開発と都市財政」(小島麗逸・幡谷則子編『発展途上国の都市政策と社会資本建設』アジア経済研究所, 1996年3月)
- ‘Urbanization in the Republic of Korea and Taiwan: A NIEs Pattern’ (“The Developing Economies”, Vol. 34 No. 6, Dec. 1996)
- 「東南アジアにおける日本人会と日本人商業会議所」(波形昭一編著『近代アジアの日本人経済団体』同文館出版, 1997年3月)
- 「韓国における都市住民組織」(幡谷則子編『発展途上国の都市住民組織』アジア経済研究所, 1997年3月)
- 「日本史における『アジア地域』」(『歴史評論』第575号, 1998年3月)
- 「韓国における都市住民組織: ソウルの事例を中心として」(幡谷則子編『発展途上国の都市住民組織: その社会開発における役割』アジア経済研究所, 1999年1月)
- 「戦後日本の対アジア経済関係と韓国」(野副伸一・朴英哲編『東アジア経済協力の現状と可能性』, 慶応義塾大学出版会, 2001年1月)

- 「戦後日本経済とアジア」(野副伸一・朴英哲編『東アジア経済協力の現状と可能性』Ⅱ, 慶応義塾大学出版会, 2004年11月)
- 「ソウルの都市形成と生活基盤(国際ワークショップ:東北アジアにおける社会的な生活基盤の形成(2))」(『環日本海研究年報』第17号, 2010年3月)
- 「グローバル時代における東アジア自動車産業の再編:中国・東南アジア・韓国の事例」(蔣芳婧と共著, 『東京経大会誌』第267号, 2010年10月)
- 「中国雲南省と東南アジアを結ぶ交通ルートの現状:大メコン圏における水路と陸路」(『コミュニケーション科学』第33号, 2011年2月)
- 「雲南省の観光開発と少数民族文化」(村上勝彦・松本光太郎編『中国雲南の開発と環境』日本経済評論社, 2013年2月)
- 「カンボジアにおける交通インフラストラクチャーの現状と問題点:グローバル化と市場化」(『東京経大会誌』第279号, 2013年12月)
- 「北東アジアにおける植民地都市の近代性をめぐって」(井上徹・仁木宏・松浦恆雄編『東アジアの都市構造と集団性:伝統都市から近代都市へ』大阪市立大学文学研究科叢書第9巻, 清文堂出版, 2016年3月)
- 「要港部都市・植民地都市としての鎮海」(坂根嘉弘編『軍港都市史研究Ⅵ 要港部編』清文堂出版, 2016年6月)
- 「改革開放以降の中国における地方都市の変貌:雲南省昆明市を事例として」(『東京経大会誌』第293号, 2017年2月)

その他

[翻訳]

- 鄭在貞「朝鮮総督府鉄道局の雇用構造」(中村哲ほか編『朝鮮近代の経済構造』日本評論社, 1990年5月)
- 呉斗煥「戦時工業化と金融」(中村哲ほか編『近代朝鮮工業化の研究』日本評論社, 1993年11月)
- カーター・エッカート「植民地末期朝鮮の総力戦・工業化・社会変化」(『思想』第841号, 1994年7月)

[書評]

- 「浅田喬二編『日本帝国主義下の中国』」(『歴史評論』第382号, 1982年2月)
- 「沢村東平『近代朝鮮の綿作綿業』」(『社会経済史学』第52巻第3号, 1986年8月)
- 「朝鮮銀行史研究会編『朝鮮銀行史』」(『日本植民地研究』第1号, 1988年11月)

年譜ならびに主要業績

- 「小林英夫編『植民地への企業進出』」（『歴史学研究』第682号，1996年3月）
- 「疋田康行編著『南方共栄圏：戦時日本の東南アジア経済支配』」（『史学雑誌』第106巻第1号，1997年1月）
- 「駒込武『植民地帝国日本の文化統合』」（『歴史学研究』第699号，1997年7月）
- 「松本武祝著『植民地権力と朝鮮農民』」（『アジア経済』第40巻第3号，1999年3月）
- 「ピーター＝ドウス・小林英夫編『帝国という幻想：「大東亜共栄圏」の思想と現実』」（『歴史評論』第596号，1999年12月）
- 「清水洋・平川均『からゆきさんと経済進出：世界経済のなかのシンガポール・日本関係史』」（『社会経済史学』第66巻第1号，2000年5月）
- 「杉山伸也・リンダ＝グローブ編『近代アジアの流通ネットワーク』」（『日本植民地研究』第14号，2002年6月）
- 「宋連玉・金栄編著『軍隊と性暴力：朝鮮半島の20世紀』」（『ジェンダー史学』第7号，2011年10月）
- 「原朗・宣在源編著『韓国経済発展への経路：解放・戦争・復興』」（『アジア経済』第55巻第3号，2014年9月）
- 「柳沢遊・木村健二・浅田進史 編著『日本帝国勢力圏の東アジア都市経済』」（『歴史と経済』第225号，2014年10月）
- 「長田華子著『バングラデシュの工業化とジェンダー：日系縫製企業の国際移転』」（『歴史と経済』第228号，2015年7月）

【研究ノート】

- 「植民地期朝鮮社会経済の統計的研究（1）」（村上勝彦・富田晶子・並木真人と共著，『東京経学会誌』第136号，1984年6月）
- 「植民地期朝鮮社会経済の統計的研究（2）」（吉野誠・金子文夫・村上勝彦と共著，『東京経学会誌』第139号，1984年12月）
- 「日本・東南アジア関係史研究の成果と現代的意義：日本における研究を中心として」（『アジア経済』第34巻第9号，1993年9月）
- 「植民地期朝鮮社会経済の統計的研究（5）」（村上勝彦・松本武祝と共著，『東京経学会誌』第185号，1994年1月）
- 「シーサンパンナにおける開発と保護をめぐって：1995年度調査報告」（廣井敏男・村上勝彦・磯野弥生・松本光太郎・荻原弘次と共著，『東京経学会誌』第199号，1996年10月）
- 「日本における朝鮮近代史研究の新たな潮流：最近の日本・アジア関係史研究の進展と関連して」（『東京経学会誌』第205号，1997年12月）

- 「中国雲南における観光開発と環境問題：1996 年度調査報告（1）」（村上勝彦・磯野弥生・手塚眞・松本光太郎と共著、『東京経大会誌』第 205 号，1997 年 12 月）
- 「일본에서 한국근대사연구의 새로운조류」（『大東文化研究』第 32 輯，1997 年 12 月）
- 「中国雲南における観光開発と経済発展：1997 年度調査報告」（磯野弥生・堺憲一・手塚眞・松本光太郎・村上勝彦と共著、『東京経大会誌』第 213 号，1999 年 8 月）
- 「中国雲南における環境行政と観光開発：1998 年度調査報告」（磯野弥生・手塚眞・松本光太郎・村上勝彦と共著、『東京経大会誌』第 231 号，2002 年 3 月）
- 「中国雲南における定点観測の再開：2003 年度調査報告」（磯野弥生・松本光太郎と共著、『東京経大会誌』第 241 号，2005 年 1 月）
- 「ウボンラーチャターニーの都市形成に関するノート」（『東北タイ・ウボンラーチャターニー県ベトナム人集住地調査実習報告書』アジア農村研究会，2012 年 3 月）
- 「朝鮮植民地都市史研究の歩み」（『朝鮮史研究会論文集』第 52 集，2014 年 10 月）
- 「中国雲南の観光開発をめぐる研究動向」（『東京経大会誌』第 285 号，2015 年 2 月）

[解説・解題など]

- 柳周鉉（朴容九訳）『小説朝鮮総督府』徳間書店（徳間文庫），1995 年 8 月
- 『朝鮮行政』全 28 巻，ゆまに書房，1998 年 5 月・2004 年 8 月
- 『植民地社会事業関係資料集』朝鮮編全 56 巻，近現代資料刊行会，1999 年 6 月
- 『朝鮮近代史料研究：友邦シリーズ』全 9 巻，クレス出版，2000 年 12 月～2001 年 2 月
- 『戦中期植民地行政資料：外務省茗荷谷研修所旧蔵記録経済編』ゆまに書房，2005 年 2 月～2009 年 11 月
- 『大倉高商新聞・東京経済大学新聞』東京経済大学（不二出版），2010 年 2 月
- 『四方博朝鮮文庫目録』東京経済大学図書館，2010 年 6 月

[概説・コラムなど]

- 「復活する“尊王愛国”路線：教育と研究の遊離」（『朝日ジャーナル』第 16 巻第 41 号，1974 年 10 月）
- 「東アジア：朝鮮二（1983 年の歴史学界：回顧と展望）」（『史学雑誌』第 93 巻第 5 号，1984 年 5 月）
- 『ある団体の記録：海外コンサルティング企業協会 20 年史』海外コンサルティング企業協会，1985 年 6 月（石塚裕道・佐々木隆爾・逢坂英明・山田朗と共著，第 1 章（2）-4・第 4 章を担当）
- 「植民地期の社会」（『基礎ハンゲル』第 1 巻第 10 号，1986 年 2 月）
- 「植民地期の生活」（『基礎ハンゲル』第 2 巻第 12 号，1987 年 4 月）

年譜ならびに主要業績

- 「近代日本は植民地で何をし、何を残したのか」(『争点 日本の歴史』第6巻近現代編, 新人物往来社, 1991年5月)
- 「『文化政治』と産米増殖計画」(林建彦ほか編『ニッポン・コリア読本』教育開発研究所, 1991年6月)
- 「日本の植民地支配と図書館:東京経済大学『桜井義之文庫』に寄せて」(『図書館雑誌』第86巻第8号, 1992年8月)
- 「台湾・朝鮮と『帝国日本』」(『新視点 日本の歴史』6近代編, 新人物往来社, 1993年8月)
- 「東南アジア占領の残したものは何か」(『新視点 日本の歴史』7現代編, 新人物往来社, 1993年9月)
- 「近代のソウル:植民地都市からNIES都市へ」(『韓国文化』第16巻第6号, 1994年6月)
- 「植民地支配と民族運動」(並木真人と共著, 朝鮮史研究会編『朝鮮の歴史』三省堂, 1995年2月)
- 「植民地支配は『善政』だったのか」(藤原彰・森田俊男編『近現代史の真実は何か:藤岡信勝氏の「歴史教育・平和教育論」批判』大月書店, 1996年1月)
- 「植民地支配と経済発展」(『歴史地理教育』第551号, 1996年8月)
- 「戦後日本経済とアジア」(『歴史地理教育』第617号, 2000年12月)
- 「韓国/NIESから『先進国』へ:ソウルの都市空間の変貌」(『アジア研ワールド・トレンド』第8巻第1号, 2002年1月)
- 「アジアNIEs:工業化を達成した東アジアの奇跡」(東京経済大学国際経済グループ『私たちの国際経済:見つめよう, 考えよう, 世界のこと』有斐閣, 2003年9月)
- 「植民地支配と戦争体制」(大日方純夫・山田朗編『近代日本の戦争をどう見るか』大月書店, 2004年2月)
- 「朝鮮半島情勢の歴史的背景」(『最近の世界の動き』14, 山川出版社, 2004年4月)
- 「東アジア都市文化の変容」(『社会主義とナショナリズム:1920年代』岩波講座:東アジア近現代通史4, 岩波書店, 2011年3月)
- 「アジアNIEs:グローバル市場への躍進」(東京経済大学国際経済グループ『私たちの国際経済:見つめよう, 考えよう, 世界のこと』有斐閣, 2013年4月)
- 「上泉徳弥と財部彪」(坂根嘉弘編『軍港都市史研究VI 要港部編』清文堂出版, 2016年6月)

[シンポジウム資料集]

- 「近現代展示にみるアジアと日本」(『近現代展示の可能性:博物館における歴史叙述の方

法』国立歴史民俗博物館, 1995年9月2日)

「도시문화와 아시아의 근대」(“2nd. Asian Culture Symposium CITY+CULTURE+HUMAN”, 光州, 2005年12月5日~12日)

「한국과 동아시아의 개항도시」(『제1회 한국 지역학 대회』인천대학교 인천학 연구원, 仁川, 2007年11月28日~29日)

「中国东北地区的日本殖民城市和类型」(〈近现代战争记忆与东北亚和平未来 东北亚和平地带国际学术会议〉中国人民抗日战争纪念馆, 北京, 2010年12月10日~11日)

「식민지도시의 공간과 문화 : 동아시아적 시야 안에서」(『근대 한국과 동아시아 - 전통, 문화정체성, 제국』연세대 역사문화학과·사학과, 서울, 2014年7月17日~18日)

[項目執筆]

伊藤亜人ほか監修『朝鮮を知る辞典』平凡社, 1986年3月

『現代日本史資料 : 大正デモクラシーから石油ショックまで』上・下, 東京法令出版, 1986年6月

丸善エンサイクロペディア大百科編集委員会編『丸善エンサイクロペディア大百科』丸善, 1995年2月

木村誠ほか編『朝鮮人物事典』大和書房, 1995年4月

佐々木隆爾編『昭和史の事典』東京堂出版, 1995年6月

歴史教育者協議会編『100問100答・日本の歴史6 現代』河出書房新社, 1995年7月

国史大辞典編集委員会編『国史大辞典』第15巻上, 吉川弘文館, 1996年1月

五十嵐仁ほか編『日本20世紀館』小学館, 1999年2月

伊藤亜人ほか監修『新版 韓国朝鮮を知る事典』平凡社, 2014年3月

[番組歴史考証]

土曜ドラマ『されど, わが愛』NHK, 1995年8月5日放送